

2010.4
VOL.25

おとうふ日和

まいにちのおとうふは、どんな薬にも勝るもの。
そのままでもよし、煮てもよし、焼いてもよし。本物の食は、すぐここにありました。

こんにちは。株式会社手造り屋 社長の岩崎勉です。

早いもので4月桜の花の季節になって、外に出て歩きたい気分です。
「手づくりやさん」でも、4月工場祭、予定しております、宜しくお願いいたします。
今月は、RaDixの総会で、石破茂衆議院議員さんの講演。そして、懇親会での話の中で、感じたこと、感動したことなど述べて見たいと思います。

自給率の話で今38%ですが、昭和20年にさかのぼると100%になるそうです。
私は小学校に入学したばかり、太平洋戦争もこれからという時代です。私の家でも野菜を作っていましたし、トマトを食べながら、きゅうりをかじりながら、川に泳ぎにいったこと、そして川でうなぎを手でつかんだことを良く覚えています。

この時代農薬も使いません、化学肥料もあまりなく、なたねかす、大豆かす、骨粉など化学肥料と混ぜた配合肥料が支流でした。
そして、土地も肥えていて篤農家も多かったですので、安心できる野菜、穀物、果物などが食べられていました。家が肥料商なのでよく覚えています。

持続可能性のある農業がこの昭和20年代一番大事な時に政策としてとられていたら、今変わっていたと思います。まもなく終戦になり、占領政策、選挙政策、農業団体、大企業優先政策などあり今にいたります。

アメリカが日本に農薬を売りたいかったこと、農作物を日本に売りたいかったこと、そして、大企業優先策をとり、工場で農家の若い人が働けるようになったこと、そして豊かな日本になり、のびすぎて今ひびがきています。

石破 茂衆議院議員の議員会館に豆腐を送らせて頂きました。
返信の手紙をのせて見たいと思います。

「この度は、美味しいお豆腐詰め合わせセットお送りくださり、心より厚く御礼申し上げます。

たまたま家内も選挙区から上京中で、家族四人で戴きました。

今までいろいろなお豆腐を食してきましたが、それらとは全く違う、まさしく感動的な美味しさに全員で驚いたことでした。食と農業の本質の一つは「夢と驚き」であることを実感した次第です。RADIXの会でもお話したことですが、日本農業の持つ力には本当にすごいものがあると確信しております。それが十分に生かされていないことには、政治が負うべき責任が誠に大きいと痛感しており、農政はその典型と言えるかもしれません。民主主義のもとでは、政治はどうしても票目当てに、その場しのぎの迎合的な政策を訴えますので、結果的に国が大きく衰退してしまいます。「政治家は次の時代を考える、政治屋は次の選挙を考える」という言葉は、私にとって初当選以来、ずっと大きな課題であり、悩みであり続けています。

農業を愛情と誠意を持って最先端のビジネスとして考える

皆様とお話させていただく機会を得ましたことは、

私にとって幸せなことでした。

どうか今後ともよろしくお願い申し上げます。」

安心して食べられる食品がほんの一部、
こだわった、農家、加工業者になってしまいましたが、
小さい企業ですが数は増えていますよ。

